

広域行政調査特別委員会会議録

令和2年 7月 7日 (火)

午前10時00分 開会

○中川健一委員長

ただいまから、広域行政調査特別委員会を開会します。

協議第1、調査事項についてを行います。

(1) 委員会の方向性についてを行います。

まず、委員会の方向性を話し合うにあたり、半田市における現状の把握と、広域行政を取り巻く状況を確認しておきたいと思います。

別添資料①から⑬について、委員長と当局から説明します。

【資料②～⑩、⑫、⑬について、資料に基づき説明】

○大木康敬企画課長

【資料①、⑪について、資料に基づき説明】

○中川健一委員長

ただいま、別添資料に基づき、一部事務組合と広域行政について説明がありましたが、ご質疑等ありませんか。

○坂井美穂議員

資料⑪について、平成16年当時に検討した、市町合併のメリット・デメリットに関する資料はありますか。

○大木康敬企画課長

この件については、半田市と阿久比町が合併について協議する会議体を設置することができなかったというものであるため、そういった資料はないと思います。

○中川健一委員長

しばらく休憩します。

午前10時20分 休憩

午前10時24分 再開

○中川健一委員長

委員会を再開します。

○新美保博委員

この特別委員会が立ち上がることとなった経緯は何ですか。また、テーマ設定の目的はなんですか。

○中川健一委員長

この調査テーマは、昨年の議会運営委員会で嶋崎議員がこのことについて特別委員会を立

ち上げたいと発言していました。

昨年度は別のテーマとなりましたが、今年度は多くの会派からこのテーマを推す意見があったため決定したものです。

テーマ設定の目的は、「半田市が中核市になるための調査」といったものや「一部事務組合のメリット・デメリットを調査」といったものがありました。

○新美保博委員

それでは調査する内容が異なると思います。中核市を目指して市町合併について検討するものなのか、一部事務組合のあり方について検討するものなのかどちらですか。

○石川英之委員

当会派としては、中核市を目指すであるとか、市町合併を行うといった話ありきで進んでほしくないと考えています。

広域行政のメニュー全般を通して半田市ではどうあるべきかを検討していきたいと考えています。

○中川健一委員長

しばらく休憩します。

午前10時32分 休憩

午前12時01分 再開

○中川健一委員長

委員会を再開します。

先ほどの休憩中に話し合った結果をまとめます。

まず、今後の委員会の方向性として、以下の3つの内容について調査・研究していくことが決定しました。

一つ目は、中核市を目指すことについての調査・研究。

二つ目は、市町合併についての調査・研究。

三つ目は、一部事務組合のメリット・デメリットについての調査・研究。以上の3項目についてです。

次に、次回の委員会については、本日に引き続き調査方法や視察先の検討を行っていきます。なお、当局においては、「知多中と常滑消防の比較資料」と「各組合の業務を市単独で行った場合に係る費用の比較資料」について、可能な限りで結構ですので資料作成をお願いします。

次に、今後の委員会の日程については、7月29日の午後1時30分から、8月27日の午後1時30分から、10月1日の午後3時からを予定しています。

視察の日程は、第1候補が11月5日～6日、第2候補が、12月16日～17日となっています。

このことについて、ご意見等ありますか。

【「なし」との声あり。】

それでは次に、その他について行います。
何かある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

無いようですので、以上で、広域行政調査特別委員会を閉会します。
お疲れ様でした。

午前12時09分 閉会